

県西地区保健医療福祉推進会議 第1回病床機能分化・連携ワーキンググループ  
開催結果概要

1 日 時 令和3年11月10日(水)

2 開催方法 書面開催

3 参加機関	医療機関	23
	医師会、行政	4
	地域医療介護連携関係者	9
	オブザーバー(市町等)	13

4 報告事項

- (1) 令和3年度地域医療構想調整会議等の運営について
- (2) 県西地域の現状について
  - ア 令和2年度病床機能報告結果(速報値)等について
  - イ 公的医療機関等2025プラン及び2025年に向けた対応方針について
- (3) 地域における医療・介護の連携体制の構築について
  - ア 令和3年度 of 取組み内容について
  - イ 新型コロナウイルス医療提供体制について
    - ① 今後の医療体制強化(第6波対策)について
    - ② 地域療養の神奈川モデルについて
    - ③ 中和抗体療法について
- (4) 小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力について
- (5) 地域医療介護総合確保基金(医療分)について
- (6) 地域医療支援病院の責務の見直しについて
- (7) 神奈川県循環器病対策推進計画の策定について

5 御意見等

別紙のとおり

## 6 その他（事務局より）

ワーキンググループ座長（県病院協会 南専務理事）より、以下のとおりコメントをいただきました。

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、県西地域の地域医療構想を推進するための病床機能の分化・連携や病院と地域の診療所との連携、医療と介護の連携などの重要性が、あらためて浮き彫りとなりました。

令和5年度にスタートする第8次医療計画においては、新興感染症等対応を含む5疾病6事業・在宅医療等が計画に位置づけられると聞いております。

また、県において今後適切な時期にコロナについて総括を行う予定とのことですので、県西地区保健医療福祉推進会議及び当ワーキンググループにおいても、注視していきましょう。」

事務局としましても、今後も地域の皆様からいろいろな御意見をいただき、地域医療構想や地域包括ケアを推進してまいりたいと思いますので、御協力くださいますようお願いいたします。

なお、いただいた御意見を含めワーキンググループの開催結果概要については、第2回県西地区保健医療福祉推進会議に報告いたします。

## 令和3年度第1回 県西地区保健医療福祉推進会議 病床機能分化・連携ワーキンググループ 意見等一覧

## 1 構成機関からの御意見等

No.	御意見・御質問の概要	県の考え方等
1	<p>中和抗体療法の新モデルに参画するとともに、12月よりコロナ病床を設置予定。第6波に対する準備に協力していきたい。</p>	<p>いわゆる第6波対策へのご協力に感謝いたします。本県においても、国からの要請を踏まえ、今後の感染拡大に備えた対策を強化してまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦は通院中の産科医療機関でのワクチン接種を希望している。</li> <li>・妊婦への接種の必要性・安全性の周知が必要である。</li> <li>・希望する妊婦に十分な数量のワクチンの迅速な提供を希望する。</li> </ul>	<p>ワクチンの接種につきましては、県ホームページ等で妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の方も接種可能であることについて周知に努めてまいります。</p> <p>また、引き続きワクチンの供給に努めてまいります。</p>
3	<p>産科医療機関だが、感染症患者の受け入れ体制が完全ではないため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通院中の患者、分娩等で入院中の患者のうち、感染の確定した患者や感染の可能性のある患者（発熱患者、濃厚接触者等）への迅速な対応について、院内及び地域で再協議が必要。</li> <li>・検査体制については、もう一段のスピード化を図る必要がある。</li> </ul>	<p>本県では「周産期コロナ患者の運用体制」に基づき、次のとおり運用しておりますので、入院調整等について何かございましたら、保健所までご連絡ください。</p> <p>①保健所が、産科かかりつけ医およびコロナを診断した病院へ、陽性となった妊婦の症状を確認し、療養先を判断、②入院となった場合、保健所が周産期コロナ受入医療機関へ相談し、受入れ先が見つかからない場合は、県の災害時小児周産期リエゾンに相談を行い、入院先を調整します。</p> <p>また、発熱患者については発熱診療等医療機関にて診療・検査を行っており、濃厚接触者については保健所にて対応しております。</p> <p>検査につきましては、本年9月より、妊婦の不安を解消するため、本人の希望に応じてウイルス検査等を実施する「不安を抱える妊婦への分娩前新型コロナウイルス感染症検査事業」を実施しています。</p>

